@Handy (アットハンディ)

操作マニュアル

2016.06.13	初版
2016.09.15	第2版



株式会社フューチャーアプリケーション

マニュアル改訂履歴

版	日付	頁	タイトル	主な改定内容
初版	2016.06.13			
第2版	2016.09.15	P.3	送信ファイルについて	(1)送信ファイルの例に、入力時の日時を追加しました。
		P.9	画面遷移について	(1) 頁を追加しました。
		P.13	バーコード読取	(1) 画面遷移を修正しました。
		P.14	コード手入力	(1) 画面遷移を修正しました。
		P.15	点数修正	(1)「+/ー」ボタンの説明を追加しました。
				(2) 画面遷移を修正しました。
		P.23	基本設定	 (1) CODE128の設定を追加しました。
		P.25	ヘッダー項目設定	(1)「点数連続入力」項目を追加しました。
				(2)「スキャン連続入力」項目を追加しました。

目次

1.	システムの構成と処理の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2.	送信ファイルについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3.	データ転送について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	1. FTPの場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	2. iTunesの場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
4.	インストール直後の画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
5.	ソフトウェアの全体構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
6.	画面遷移について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
7.	操作説明	
	1. メニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	2. 入力 (ヘッダー) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	(1) 入力(明細) ************************************	12
	① バーコード読取 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	② コード手入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	③ 点数修正 ************************************	15
	3. データ送信 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
	4. 端末毎設定 ************************************	17
	(1) 店舗コード入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	(2) 端末番号入力 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	19
	(3) データ削除 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
	(4) アプリ連携カウントリセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	(5) 基本設定情報受信 •••••••••••••••••••••	22
	5. 基本設定 ************************************	23
	(1) ヘッダー設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
	① ヘッダー項目設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
	(2) 送信·受信設定 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	26
	(3) ロックパスワード設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
	(4) 基本設定情報アップロード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
	6. 機能説明 ************************************	29
	7. 機能制限解除 ************************************	30
	(フリー版のみ)	
8.	アプリ連携機能	31
	1. 単発連携 ************************************	32
	2. 明細画面連携 ************************************	33

■1. システムの構成と処理の流れ

システムの構成と処理の流れは、以下の通りです。



■2. 送信ファイルについて

端末からサーバーへ送信されるデータファイルは以下の通りです。

ファイル名称

FAHandyScan99・・・・・99. txt 年月日(6桁)+時分秒(6桁)の計12桁。

(例)2016年6月10日15時25分30秒の場合、ファイル名は"FAHandyScan160610152530.txt"

- ・ CSVテキストファイル(カンマ区切りのテキストファイル)です。
- ・ 各項目は、""(ダブルクォーテーョン)で囲まれます。



ヘッダー項目が3個以下の場合、""のみの項目が作成されます。 (この例では、ヘッダー項目は2個) ■3. データ転送について

端末からサーバーへのデータの送受信には、FTPまたはiTunesを使用します。

1. FTPの場合

(1) 設定

端末で、サーバーの情報(アドレス、ユーザーID、パスワード)を設定します。 手入力のほかに、設定用バーコード(CODE39)を作成し、カメラから読取ることでも設定できます。 多くの端末を設定する場合に作業負担を大幅に軽減できます。 (詳しくは「■6-5-(2)送信・受信設定」参照)

(2) ディレクトリ・ファイル構成

FTPでファイル転送を行う場合、サーバー側のディレクトリ(フォルダ)とファイルの構成は以下の 通りです。fahandyscan・config・dataディレクトリは、端末からのデータ送信時に存在しなければ、 自動的にサーバー上に作成します。



※ FTPルートディレクトリ。
 規定では、C:¥inetpub¥ftproot
 詳しくはシステム管理者に確認して下さい。

2. iTunesの場合

サーバーにiTunesがインストールされている場合、サーバーと端末間で、ファイルを相互にコピーできます。

【手順】

iTunesのバージョンによって、画面やメッセージは異なります。 以下の手順は、Ver.12.4.1.6の場合です。

- 1. 端末の電源を入れます。
- 2 サーバーと端末を接続します。 USBケーブルで接続、またはWi-Fi経由での同期により接続します。
- 3. サーバーでiTunesを起動します。



4. デバイスを選択します。



左側のリストで「App」をクリックします。
 画面を下方向にスクロールし、「ファイル共有」を表示します。



(次頁へ)

6. Appのリストから、「@Handy」をクリックします。

→ 「@Handyの書類」に端末上のファイルが表示されます。

大庭故幸のiPod touch ▲ 「668 99% ●・ ファ び	「@Har クリ・ アイル共有 「の App では、 Pyn touch とこのコンピュー	ndy」を ック -少の間で書類- 仮送できます。	7711	一覧
	p HS @Handy FileMaker Go	●Handy の書類 FAHandyScan160427153823.txt FAHandyScan16060094610.txt FAHandyScan160610094610.txt setting.cfg	4 KB 2016/04/27 15:39 4 KB 2016/06/08 16:45 4 KB 78 9:46 4 KB 2016/06/07 10:52	
		交流编辑: 10.03 GB	77イルを追加 保存先 v	

- 7. ファイル転送を行います。(ファイルは1つまたは複数同時に転送できます。)
 - (1) サーバー→端末へ
 - ・ サーバー上のファイルを「@Handyの書類」リストにドラッグアンドドロップ または
 - ・ 「ファイル追加」をクリック→サーバー上のファイルを 選択→「開く」をクリック
 - (2)端末→サーバー
 - 「@Handyの書類」リスト上のファイルを、サーバー上のデスクトップやフォルダにドラッグアンド ドロップ

または

- 「@Handyの書類」リストからファイルを選択→「保存先」クリック
 - → サーバー上のデスクトップやフォルダを選択→「フォルダーの選択」をクリック

以上です。

■4. インストール直後の画面

【説明】

ソフトのインストール直後は、以下の画面を表示します。



■5. ソフトウェアの全体構成

ソフトウェアの全体構成は、以下の通りです。



■6. 画面遷移について

業務ごとに、入力画面の遷移を設定することができます。

ヘッダー項目設定画面の、「点数連続入力」「スキャン連続入力」で設定します。

- ····· ONのとき、バーコードスキャン後に、点数修正画面に推移します。 点数連続入力
- スキャン連続入力 ····· ONのとき、バーコードスキャン・点数修正後に、明細一覧画面を表示せず、 連続してスキャン画面を表示します。

※設定方法は、「ヘッダー項目設定」頁参照

画面遷移図

★ 点数連続入力 OFF : スキャン連続入力 OFF ※パンストール直後はこの設定です。



★ 点数連続入力 ON : スキャン連続入力 OFF



★ 点数連続入力 ON : スキャン連続入力 ON





■7. 操作説明 1. メニュー

【説明】

画面をタップすると、選択した処理の画面を表示します。



業務を選択し、ヘッダー項目を入力します。



■ 7. 操作説明 2-(1)入力(明細)

【説明】

コードと点数を入力します。

コードの入力はバーコードのスキャンまたは手入力で行います。



■7. 操作説明 2-(1)-① バーコード読取

【説明】

カメラでバーコードを読み取ります。(一瞬で読み取り)



※ 読取り後の画面遷移については、「画面遷移について」頁参照

■7. 操作説明 2-(1)-② コード手入力

【説明】

コードを手入力する画面です。



※ 画面遷移については、「画面遷移について」頁参照

【説明】 点数を修正する画面です。 バーコード読取・コード手入力直後は、点数は1です。 点数が2個以上の場合は、この画面で修正します。



※ 画面遷移については、「画面遷移について」頁参照

■7. 操作説明 3. データ送信

【説明】

サーバーへ入力データを送信します。



■7. 操作説明 4. 端末毎設定

【説明】

画面タップにより、端末ごとの固有の項目を設定します。





店舗コードを入力します。



端末番号を入力します。



入力したデータをサーバーに送信せず、削除します。



■ 7. 操作説明 4-(4) アプリ連携カウントリセット

【説明】

アプリ連携のカウントをリセットします。



■7. 操作説明 4-(5) 基本設定情報受信

【説明】

各端末で共通な設定項目の情報をサーバーから受信します。



画面タップにより、各端末で共通な項目を設定します。 基本設定情報をサーバーにアップロードし、その情報を別の端末にダウンロードできます。 (アップロードは⑥、ダウンロードは「■6-4-(5)基本設定情報受信」参照) 端末の台数が多い場合、セットアップ作業を大幅に軽減できます。



ヘッダー(業務の種別)を追加・削除します。



ABC

⊕ ⊉

ま

^^

や

わ

5

、。?!

ヘッダー(業務)ごとに異なる入力項目を設定します。

- 最大4個まで設定可能です。
- 日付と数値の2タイプが選択できます。



MNO

9

WXYZ

 \bigotimes

GHI

7

PQRS

JKL

8

TUV

0

サーバーとの通信情報を設定します。

FTPの場合、手入力のほかに、設定用バーコード(CODE39)を作成し、カメラから読取ることでも 設定できます。多くの端末を設定する場合に作業負担を大幅に軽減できます。



■7. 操作説明 5-(3) ロックパスワード設定

【説明】

基本設定画面をロックするパスワードを設定します。





■ 7. 操作説明 5-(4)基本設定情報アップロード

【説明】

端末で設定した基本設定情報を、サーバーにアップロードします。



■7. 操作説明 6 機能説明

【説明】

@Handyの機能を説明する画面を表示します。

※バージョンアップなどにより、説明文は変更される可能性があります。

	く戻る機能説明
1	このアプリは2つの機能をご提供します。
メニュー へ戻る	 ハンディターミナル バーコードを利用し商品や備品の管理を効 率良く正確に行うツールです。 業務用の小型ハンディターミナルと同等な 機能を提供します。
	ヘッダー項目はカスタマイズ可能です。 2 バーコードスキャナ
	内蔵カメラによるバーコード読み取り機能 を他のアプリから利用可能にします。 x-callback-urlにて連携します。
	たとえば、FileMakerGoと連携FileMaker に高性能なバーコード読み取り機能を付加 できます。

フリー版をご利用中の場合に、購入手続きを行う画面です。 ご購入いただくと、制限が解除されます。 ※価格は、実際の価格が表示されます。



■8. アプリ連携機能

I

【アプリ連携機能とは】

別アプリにバーコード読み取り機能を付加する機能です。 (X-CALLBACK-URL仕様に準拠したURLスキームにて連携します。) 例えば、読み取ったバーコードの情報を、FileMakerアプリに取り込む等の活用ができます。

2通りの連携の方法があります。

(1)単発読み取り

1回毎バーコードスキャン機能のみ連携します。 スキャンしてすぐ元のアプリに戻ります。

(2)明細画面連携

バーコード読み取りと数量入力を複数回行い、元のアプリに戻ります。 (データをクリップボード経由で送ります。)

■8. アプリ連携機能

1. 単発連携

【説明】 1回のバーコードスキャン機能のみを連携します。読取り後は、元のアプリへ戻ります。

FileMakerとの連携の例



■8. アプリ連携機能

2. 明細画面連携

```
【説明】
```

バーコード読取りと数量入力を複数回行い、クリップボード経由でデータを別アプリへ送ります。

